



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2025～2026年度 RI会長 フランチェスコ・アレツツォ
RIテーマ UNITE FOR GOOD

クラブテーマ「”笑顔”のために手を取りあおう」

会長 服部光弥 幹事 小島 真

第1628回例会 2026.2.6(金)晴

司会：杉山寿美子君

ロータリーソング「奉仕の理想」指揮：高橋大輔君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 服部光弥君

前回、1月16日の例会から半月が経ち、こうして皆さまとお会いできることが出来、大変うれしく思います。何度もお伝えさせていただいておりますが、今年度の例会は31回と今までにならぬ少なさです。次年度のプログラムもそろそろ取り組んでいる事と察します。皆様、いかがでしょうか？

さて、本日は大変お忙しい中、長泉町池田おさむ町長にお越しいただきました。会を代表して改めて感謝申し上げます。そして私がこのせせらぎ三島ロータリークラブに入会した2010年、共に活動した久保栄子OGIにもお越しいただきました。大変ありがとうございます。先ほど皆様でご唱和いただきました、1、真実かどうか 2、みんなに公平か 3、好意と友情を深めるか 4、みんなのためになるかどうか この「4つのテスト」を綱領としている我々自身が「より地域を理解するため」を目的として本年度計画をした「地域卓話」です。前回は三嶋大社矢田部宮司にお越しいただき、2回目の本日は「街の住み心地ランキング7年連続1位に長泉町を率いる池田おさむ町長にお越しいただきました。大変短い時間で誠に恐縮ですが何卒、よろしく願いいたします。長泉町の取り組み、そして街自慢はもちろんですが、「いま・気になっていること・・・」等々是非とも私たちに伝えていただき、その「つぶやき」が私たちせせらぎ三島ロータリークラブの「奉仕の推進力」となることを祈念して会長挨拶に代えさせていただきます。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

池田修長泉町長
久保田麻里さん 久保栄子さん
石井幸弘君(伊東西RC会長)
東端克博君(伊東西RC幹事)

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	40/42	95.24%	40/42	95.24%
今回	36/42	85.71%	会員総数	43名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、勝又君、鈴木君、土屋君、成川君、山口君

(*出席免除会員の欠席者 片野君)

おめでとう

会員誕生日	2月1日	藤川智徳君
	2月6日	加藤貴康君
	2月7日	吉村真人君
	2月19日	中村徹君
入会記念日	1月5日	山本良一君
	1月27日	遠藤修弘君
	2月14日	服部光弥君
	2月20日	原兄多君
	2月21日	米山晴敏君



スマイルボックス

石井幸弘君・東端克博君(伊東西RC)昨年地区大会では大変お世話になりました。特別チームを作って頂き大変助かりました。感謝です。

服部光弥君:長泉町長 池田おさむ様、本日はお忙しいなか、お越しいただき大変ありがとうございました。短い時間で恐縮ですが、どうぞよろしく願いいたします。

佐野彰重君:スルガ平の佐野です。池田町長の卓話楽しみにしています。本日はよろしく願い致します。

中村徹君:2月19日で83歳になります。2年ほど前に階段を踏み外して転倒、左肩打撲痛で腕が上がりなくなり、この1年間三島市谷田にある「県立健康福祉交流プラザ」にリハビリを兼ねて週1回通っています。高齢者同士、顔見知りも増え会話を楽しんでいます。

加藤正幸君:池田町長のお話し楽しみましょう!

野村諒子君:長泉町長池田様、ようこそせせらぎ三島ロータリークラブへ。2月議会も始まるお忙しい時期だと思います。長泉町と三島市、函南町等近隣市町の連携をよろしく願いします。



本講義では、長泉町が普通交付税不交付団体という立場から直面する財政課題を詳述。人口増、高い地価、県内トップの平均所得など一見好調な指標の一方で、国の政策変更(コロナ対策費、保育無償化、職員待遇改善等)により自主財源だけでは歳出増を賄えない危機が進行していることを解説。さらに、ふるさと納税制度の矛盾(交付・不交付間の不公平、寄付の偏在)を指摘。最後に、企業誘致やインフラ整備など前向きなまちづくりを推進する姿勢を示した。

1. 長泉町の現状と特徴

・長泉町の概況

- 周辺市町から羨望される活力ある町と評価。
- 人口は増加傾向。
- 住宅地の地価公示価格は県内最高。
- 平均所得・財政力指数とも県内1位。
- 住宅メーカーの「住み心地ランキング」で7年連続県内1位、全国でも4位・5位にランクイン。
- ・高い平均所得
- 総務省把握の課税総所得を納税者数で割った平均所得は404万5千円で県内1位。2位の市町より1割以上高い。
- 高所得層の比率が高く、高地価ゆえに相応の所得層が転入する構造が要因と考えられる。

・高い製造品出荷額

- 製造品出荷額は県内12位だが、面積(26.63平方キロ、県内で3番目に小さい)当たりでは県内1位(1平方キロ当たり234億円)。
- 過去の企業誘致等の成果。

2. 普通交付税不交付団体が直面する財政課題

・普通交付税制度の概要

- 普通交付税は、標準的な行政サービスに必要な経費(基準財政需要額)に対し、自主財源(基準財政収入額)が不足する場合に国が交付。
- $\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$ が1を超えて「不交付団体」となり交付なし。
- 長泉町は昭和58年から不交付団体。財政力指数1.16(県内トップ、全国1741市町村中36位)。
- 国はコスト削減のため不交付団体を増やす方向。

・不交付団体への不利益な措置

- 交付金で不利な扱いが発生。
- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(お米券等): 長泉町は1人当たり6,298円、三島市8,800円、函南町9,700円。同一事業実施には長泉町の自己負担(単費)が増。年少者人口割合、地方税収、財政力指数による国の補正が差の要因。
- コロナ対策費: ワクチン接種関連の国交付額が全国ワースト5の少なさ。不足分は財政調整基金で補填。

・国の政策変更による歳出増

- 近年の政策で不交付団体は全額自己負担となる事業が増加。保育の無償化
出産一時金(令和5年～)
帯状疱疹など一部ワクチン接種費用
戸籍・住基法改正対応の準備費用

○不交付以外も負担増となる事業が拡大。

民間保育所運営費改定:費用の1/4を市町が負担(長泉町は令和2年度から6,300万円増)。

会計年度任用職員の勤勉手当・昇給制度導入:年間2億円の負担増(長泉町)。

教育支援センター、子ども家庭センターの設置、子ども誰でも通園制度等。

・長泉町の財政状況

○令和7年度当初予算:町税97億7千万円(歳入の53.6%)、翌年度は102億円見込み。主税は固定資産税(47%)と個人住民税(36%)。

○税収増も国策による歳出増に追いつかず、財政調整基金取り崩して残高は15～16億円まで減少し危機的。

○約44億円の土地購入(中学校隣接地)が主因ではない。地方債残高は他市町より依然少なく、土地購入が直接要因でないことをグラフで示す。

○同様の問題は他の不交付団体でも発生。愛知県碧南市(財政力指数1.35)が現状非常事態宣言を発出。

3. ふるさと納税制度の問題点

・制度の現状と不公平性

○納税額は1兆2,700億円超の一方、約半分(5,900億円)が返礼品(3,200億円)、仲介手数料(1,600億円)、配送料(700億円)に消費。本来の住民税が経費に流出。

○寄付は一部自治体に集中し、全体の1割超がわずか10団体に集積。

・交付団体と不交付団体の不合理な扱い

○ふるさと納税による税収減に対し、交付団体(例:横浜市、343億円流出)は75%を国が補填。不交付団体(例:川崎市、154億円流出)は補填なし。実質マイナスは川崎市の方が大きい。国は補填のため新たに3,100億円の交付税を計上。

・寄付金の会計上の扱い

○ふるさと納税は「寄付金」扱いで、普通交付税算定の基準財政収入額に算入されない。

○その結果、北海道白糠町のように巨額寄付(211億円)を受け基金積立(188億円)しつつ、普通交付税(36億円)も受給する矛盾が発生。

○寄付金を基準財政収入額に算入すべきとの講師の主張。

・長泉町の状況

○ふるさと納税による流出は約2億5,000万円で、全国の町村で最大のマイナス。

4. 長泉町の今後のまちづくり

・危機への対応策

○国策由来の財政難という逆風の中でも、前向きなまちづくりを推進。

・具体的な計画

○医療・産業の集積: 県の「医療田園都市構想」と連携し、長泉沼津IC周辺で企業誘致を推進。



カンボジアの小学校へ水道に設置するアート石鹸を日大生が作ってくれました。